

# えが お



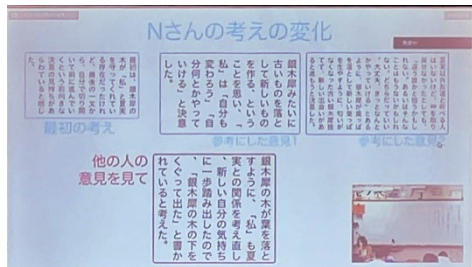
## ICT Conference 2023 in INA



今年度で6年目となる伊那市「ICTカンファレンス」が春富中学校をメイン会場にライブ配信され、市内全小中学校の先生方が参加し、ICT活用教育について研修をおこないました。

事前に収録された東春近小学校2年生の国語と春富中学校2年生の国語の授業を、参加者が視聴してから、授業研究会がはじまりました。

小学校の授業では、児童の皆さんが登場人物になりきった音読や演技をするために、タブレット



【春富中2年国語】ipad上で友だちの考えを知り、自分の意見の変化を書き込みます



【小学校 授業研究会】オンライン配信で市内各校と意見交換をしています。

に録画された自分や友だちの映像を見ながら表現を高めていく姿があり、中学校の授業では、生徒の皆さんがコメント機能を使って先生とやり取りしたり、何人もの友だちの意見をタブレット上で見たりしながら、自分の意見を再考する等、協働学習を通して学びを深める様子が分かりました。

特別講演では、一般社団法人メディア教育研究室代表理事・国際大学GLOCOM客員研究員の今度珠美(いまだたまみ)先生に「デジタル・シテイズンシップ・善き使い手になるための学び」と題して、デジタル技術を用いて積極的に社会に参加

パソコンや携帯で「伊那市えがお」と検索するか、下のQRコードから入ると、令和4年度分からこの号まで、全てカラ―でご覧いただけます。



令和5年度  
No.6  
12月18日

し、健全で責任ある市民となるための資質や思考、行動等を講義と演習を通して教えていただき、今後のメディア教育の充実につながる講演でした。

### 長谷地区生涯学習講演会

#### 「考えることは楽しい だから科学はおもしろい」

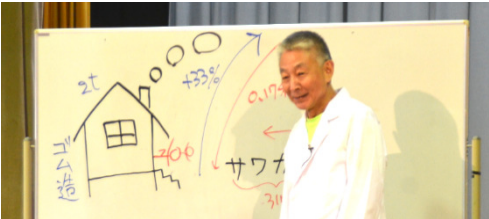
柳田 理科雄 さん



1996(平成8)年にベストセラーとなり、現在27巻発行されている「空想科学読本」の著者として有名な柳田理科雄さんを講師にお迎えして、長谷公民館で講演会が開催されました。

前半は、「アンパンマン」や「サザエさん」について、それが本当だったら大変なことになってしまふこと等をお話され、「科学の目で見るといろいろな楽しみ方がある。」と教えていただきました。その後、来場した子どもたちといっしょにペンシルパルーンを使った楽しい静電気の実験をおこないました。

柳田さんは、ガガーリンが宇宙に行った2ヶ月



サザエさんのエンディングで出てくる家はゴム製で、サザエさんたちが時速140kmで走って家に飛び込み壁にぶつからないとあれほど伸び縮みしないというお話



静電気を帯びたペンシルパルーンを窓にくっつけました

後に種子島に生まれ、「理科雄」は本名です。子どもの頃からウルトラマンや仮面ライダーの行動に興味と疑問を抱き、アニメや漫画などの空想の世界を科学的に研究する試みを今も続けています。

「子どもが疑問を抱いたら、『謎だよな。』と大人も同じ立場になってあげると、子どもは自分から調べる。」「楽しい気持ちの時には、心も体もいい調子、楽しく勉強して下さい。」と締めくくり、考えることの楽しさ・面白さを教えてくれました。

### 伊那市人権同和教育講座講演会

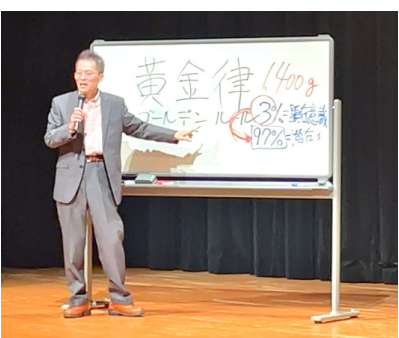
#### 「大切なのは、いたわり・愛」

中山まさとも さん (漫才師)

市民大学との共催による伊那市人権同和教育講座講演会が、漫才師の中山まさともさんを講師にお招きし、ニシザワいなっせホールでおこなわれました。

中山さんは、兵庫県宝塚市のご出身で、1990(平成2)年、漫才コンビ「ビッグアップル」としてデビューし、1996年からは、奥様のつかささんと、夫婦漫才コンビ「中山まさとも・つかさ」を結成し、「漫才」のみならず「講演」「レポーター」「俳優」など様々な分野で活動されてきました。

成功者と言われる人たちは、自分がしてほしいことは進んで誰かにしてあげて、人からされたらいやだなと思うことは絶対人にはしないという黄金律(ゴールデンルール)を守り、前向きに成功したイメージを思い描き、成功への歩みを止めない癖を持っていることをエジソンの伝記を例にお話されました。また、昔か



ら受け継がれてきてしまった様々な差別に対して「今の大人がそれをやってしまうとまた次の世代にそれが引き継がれてしまう、今止めておかないと・・・」とお話されました。

私たちが明日からの生活にいかしていける考え方を楽しい話芸で分かりやすく教えていただいた講演会でした。

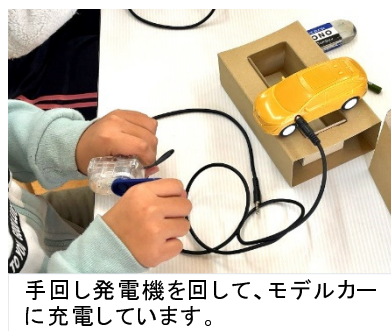
### 日産わくわくエコスクール

日産自動車は、市内の学校や諸施設で回収したペットボトルキャップを伊那市社会福祉協議会が洗浄・色分けし、伊那市の会社スワニーが車体を成形して作った電気自動車モデルカーで、環境について学ぶ「日産わくわくエコスクール」を東春近小、伊那東小、高遠小、高遠北小で開きました。(写真は高遠小)

講師は日産自動車の技術企画部の田村さんで、「地球温暖化と電気自動車について」「アッサイクルモデルカー実験」「海のプラスチックごみ」について学習を進めていただきました。

モデルカーの箱の中には、車名が印刷された伊那マツで作った経木も入っていました。

学校・社協・企業が協同した取組のおかげで、楽しく環境学習をすることができました。



手回し発電機を回して、モデルカーに充電しています。



充電したモデルカーをコースで走らせました。



学習を終えて、1人1台モデルカーを持って、記念撮影をしました。

東春近公民館人権同和教育講座  
子どもの育ちを支援するために、  
私たちができること



子ども相談室の現場から

伊那市子ども相談室

田畑 和子 さん



伊那市子ども相談室は、以前中央病院があった場所に建てられた「健康センター」の中にあり、親や子どもからの相談が数多く寄せられ、個々に対応・支援をしている教育委員会の課です。

田畑さんは、「週刊誌に出ているようなことが伊那市で起きていることを知って、地域の皆さんに何ができるかいつしよに考えていただきたい。」と貧困家庭・虐待等の事例や課題についてお話しされました。また、育児ストレスで子どもから離れた家庭から、一時的に子どもを預かる「レスパイト事業」の紹介もありました。

さらに「ヤングケアラー」として、子ども相談室で把握しているケースが25世帯31人いることやその状況、自覚がなかったり知られたくなかったりする課題、「子育て世帯訪問支援事業」についてお聞きしました。



最後に、声をかけ合い、多くの目で子どもを見守る地域づくりの必要性や、何かあれば、721099や189(いちばやく)に連絡してほしいと締めくくられました。子育ての深刻な状況を高齢者の方々に知っていただく貴重な機会になりました。

新山小学校  
焼きいもキックベース大会



新山小学校では、「カレーパーティー」、「新山大運動会」「楽しい集まり」等、日頃から保育園の皆さんと様々な交流をおこなっていますが、この日

は園児25名と小学生48名が、校庭に集まり、「焼きいもキックベース大会」がおこなわれました。

サツマイモは、これまでいつしよに育てた「シルクスイート」という種類のサツマイモです。児童の皆さんは、朝からサツマイモを洗って、新聞紙やアルミホイルで包む等の準備をしました。全校でキックベースをしながら、園児の皆さんを待ち、園児の皆さんの来校後、仲よし遊びで3つの縦割り班に分かれて、ゲームをしました。

児童の皆さんは、高学年を中心に園児の皆さんの面倒をよく見ながら、ゲームをしたり、焼きいもを食べたりしていました。

コロナ禍で、これまでいつしよに食えることができませんでしたが、3年ぶりに全園児と全児童が、雲一つない青空の下でいつしよに楽しみました。



とても甘くておいしいシルクスイートを縦割り班で、食べました。



アルミホイルや新聞紙をはがしてあげました。



「かたちおに」「転がしドッチ」「ドンジャン」をして、楽しみました。

西春近南小学校  
上伊那幼年教育研究会



令和5年度第65回上伊那幼年教育研究会が西春近南小学校で開かれ、約100人の保育士や教員が参加し、西春近南保育園と西春近南小学校の園小合同研究テーマ「幼児期の育ちと学びを小学校につなぐ指導はどうあったらよいか」幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿をつないで」にかかわって、授業公開や研究協議がおこなわれました。

インフルエンザの影響で、保育園の公開はなくなりましたが、小学校では、「自分だけのお気



タブレットで、友だちが何をやるか見えています。

に入りのクリスタル」という題材名で、個人の発想力・構想力、友だち同士での協働的・対話的な姿の育成を目指しての授業公開をしていただきました。児童の皆さんは、プラスチック容器などの光を通す材料にマジックで色を塗り、LEDライトの光を当てたり暗い中で光らせたりしながら、自分を作りたクリスタル〇〇を作りました。

西春近南保育園と小学校では、年間で様々な交流をおこなっていますが、子どもたちだけでなく、先生方も相互に保育園実習や小学校実習をして、連携や研究を深めて来たことが分かりました。

また、この南小学区には「南風っ子を育てる会」があり、地域・小学校・保育園が一体となって、育てたい子どもの姿を共有し、みんなで育てる体制があることも分かりました。

西春近南保育園と小学校の子どもたちの姿や実践から、学びをつなぎ主体的な姿を目指すために、多くのことを学ぶことができた研究会でした。

西箕輪保育園・小学校  
中学校の交流



西箕輪中学校3年東組の皆さんは、「あつまれ東の森」と名付けた交流の場を計画し、射的・ヨーヨー釣り・テープ風船・スライム作り・などなど・ボウリング・ぬり絵のコーナーを準備して、園児の皆さんと楽しく遊びました。

3年南組の皆さんは、総合的な学習の時間に取り組んだゴミ拾いのことを小学校1年生に発表して地域をきれいにしようと呼びかけました。その後は、風船バレーや新聞ジャンケンなどのゲームを楽しみました。

小学校5年生と保育園の年長さんは、「5・5交流」という来年6年生になる5年生の皆さんと来年1年生になる5歳の園児さんとの交流をしました。いつしよに遊んだ6年生が待つ小学校に入学することを楽しみにしてくれると思います

西箕輪は、保育園・小学校・中学校・学童クラブがまとまって位置し、公民館も近くにある交流や連携にとても恵まれた地域であると思えました。



中学校3年東組の生徒が園児にスライムの作り方を教えました。



中学校3年南組の生徒が小学校1年と新聞ジャンケンをしました。



小学校5年生が年長さんとジャンケン列車をしました。

「伊那市人権同和教育講座講演会」

- 演題 「ネット・スマホが変える子どもの育ち」
- デジタル社会と子どもの未来を考える
- 講師 石川 結貴 さん(ジャーナリスト)
- 日時 令和6年1月13日(土)
- 午前10時30分～12時(開場 午前10時)

【お詫び】前回の「えがお」No.5のお知らせは、時間が違っていました。午前10時30分が正しい時間です。お詫びし、訂正いたします。

○ 会場 伊那市生涯学習センター(いなっせ)6階  
※入場無料、申し込み不要、先着200名



詳しくはQRから↑